	No. 23 —	1 基本事務事	業名商工	振興事務	· 务	事務事	業名 商	工会支援事業		公的関与	7 シ	一卜作成日 平成23年	56月15日
	部局名		業経済部	ß	課名	商工観光	光課	主務課長	呂	高橋弘一	シー	-卜作成者名 井上	:美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト引	丰業	0	3 経常的事務事	事業 ●	5 補助:	金・負担金・支	援	業運営方法 -	1 直		:部委託
	争未应力	○ 2 ハード	3 717		4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	)他	未连吕万広	_ 2 -	·部委託 🗸 4 補	助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		商業の振				1 該当	平		~ 平	成 年 ☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)j	商工会の	)育成		0	2 非該当	根	拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	阿波市商	工会									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	賑わいイ	ベント等の実施や	地域でのま	ちづくりを	を担う人材、商工	.会の運営	・活動を支援しる	ます。		
PL		たいのか)	今年度										
AN					ヽますか。(主なŦ	の5つま	で)						
N		① 阿波市4番											
	事業の	② 商工会の											
	活動内容	③ 商工業の											
		④ 商業地の	<sup>境克設備</sup>	を図ります	Γ.								
		<u>⑤</u> 指標名	7	サヴザで	スは指標設定理的	自 単位		平成 21	左曲	平成 22 4	左	平成 23 年度	最終目標
	No. 6-6 1	拍标名	-		会員数により発展		目標	十八 21	<u> </u>	十八 22 3	+皮 1200	十八 23 十尺 1200	取於日保 1200
	数値目標 (事業の目的	商工会の会員数		商工会の をみるたる		業者	実績		930		852	1200	1200
	及び活動内				•		目標				002		
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会計			会計	款	7 商		項	1 商工費		目 1 商工振興費	
			平	<u> </u>		_	22	年度決算	平成	23 年度	<b>を予算</b>	備考	
		国庫支出			千日			千円			千円		
		県 支 出	金債		千日	_		千円			千円		
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則			<u>ተ</u> ተ			千円 千円			千円 千円		
O		一般財	源		12,160 <del>T</del> F			12,160 千円		12 1	60 千円		
		<u></u> 計(A)	<i>////</i>		12,160 TF			12,160 千円		,	60 千円		
		正職員工数・総	圣費 0.3	20 人	2,011 ∓F		人	2,144 千円	0.350		16 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, ,	,								
		臨時·嘱託工数·	経費 0.0	00 人	<b>0</b> 千日	9 0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			<b>14,171</b> 千日	9		14,304 千円		14,2	<mark>76</mark> 千円		

					ク項目					_	次評値	<u></u>		_	次評価の	の説明	月		二次	評価	ī
		1.	市が実施しなくても 主体があり、事業を						0	少ない	•	大きし	۱,	商工会に を支援して	こいます。	商業	団体に	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中	、次年度	度以降実施	をする緊	急性が認	められない。	0	ない	•	ある		補助する	ことにより	県下	一の阿まちでき	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のた	めに、明	見在の手段	、方法等	の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		波市商工ると思いま	云の石は きす。	161-	お子 ぐさ	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下が 上回るサービスとな			<b>粦自治体</b>	と比較し	てニーズを	0	いる	0	いなし	,١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現する	ために、	事業内容	が必ずし	,も適切と	はいえない。	0	いえなし	, O	いえる	3	各事業所 が会員数				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化	など、施	策への貢献	ば度が著し	しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	ます。これ	からは時	代に	即した	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の	中で類似	以・重複し	した事務	事業が存	在する。	0	する	•	しない	۸.	サービスの す。	<b>り提供か</b>	必要で	ごありま	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をしても	成果の向	句上が期待	寺できな	い。		0	できなし	١	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進	捗状況が	が劣ってし	ハると思	う。		0	目標に	比べて針	片っている	გ	阿波市商				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して成	果があま	まり上がっ	っていな	いと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		等を行い				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して概	ね目標を	を達成して	ていると	思う。		0	概ね達	成してに	<u></u> る						•	概ね達成	してい	<u>გ</u>
		4.	目標設定に対して十	·分に目標	票を達成し	している	と思う。		0	十分達								0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べてコスト	が高い。					0	高い	•	適当		コスト削減要ですが、				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体のノウ	ハウや新	折たな制度	度を活用	できる。		0	できる	•	できた	ほい	ており補耳	力金として			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の	関係で、	実施手具	没等を見	直す余地	がある。	0	ある	•	ない		ると考えま	きす。			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の	変更なと	どによりこ	コスト削	減の余地	がある。	•	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					一次	<b>火評価</b>								<u> </u>	_	次評	価				
	評値	三		<b>沙性</b>	達成度	対	<b>加率性</b>	総合評	価		必要	性	7	与効性	達成	隻	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> 2	を の	•	<b>4</b> ● 現状紀	3 維蛙 【	<u></u> 〇 方法	3 改善	A ○ 民間委i	4笙		<b>4</b>	 大 · 充 ·	<u></u>	<b>4</b> ┃ ● 現状	<u>3</u> :維持		<u>4</u> 方法改善	<b>‡</b>	<ul><li>○ 民間</li></ul>	A 表	· 4笙
		句性		合/終期			:/休止	〇 以间安市	<u> </u>	_	)縮/		$\overline{\bigcirc}$	統合/終			<u> </u>		O KIF	134	<u> </u>
AC	73.		ं गांध उ		/IIX/C	<u> </u>	-/				<u> ли</u>			評価での					の相違点	į	
TIO			合併して2年目を迎え 支援事業や地域振興							す。 商		の振興	に商	「工会の果」	たす役割	は大で	である、さ	らなる			事業の充
N	と多	革案 と行 画	各事業所が緊密に連 会にすることです。	携し一致	 団結して、	、新しいア	アイデアを	出し合い活気	ある商	事工 第工	!が図ら	られるよ	<b>よう、</b>	実行計画の	こ沿って泊	進めて	ください。				
		員会  事項																			

	No. 23 —	2 基本事務事	業名 商工	.振興事剤	务		事務事業	業名した	ばこ販売組合	支援補助	金公	的関与 7 シ	/一ト作成日 平成2:	3年6月15日
	部局名	産	業経済部	ß	課名		商工観決	光課	主務課長	名	高橋	弘一 シー	ート作成者名	上美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事	務事詞	業 ●	5 補助	金•負担金•支	援	業運営	<u> </u>	直営 3	全部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維	持管理	里 〇	6 内部	管理事務・その	の他 <sup>事</sup>	未理呂。	7法 2-	-部委託	補助等
		基本構想(政	<mark>策)</mark> 5.	産業が発	展するまちつ	うくり			実施計画			事業	美の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)i	商業の振	興				)1 該当				<sup>፲</sup> 成 <mark>年 ☑ 期</mark>	間設定なし
		主要施策	(2)	商業経営	的近代化の	促進		<b>(</b>	)2 非該当	7	艮拠法令	i等		
		対象(誰を、 <sub> </sub> 何を)	阿波市内	消費者、力	たばこ小売人組	組合								
		目的(どうい う状態にし	最終的	阿波市内	のたばこ販売	店の拡	<b>長興発展</b>	並びにた	ばこ市内消費	きの拡大に	資するこ	とです。		
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの												
N		<ol> <li>日本たばこ</li> </ol>		_			進対策会	議の支持	爰します。					
	事業の	② たばこ地元				,								
	活動内容	③ 未成年者	禁煙防止	運動の推	進									
		4												
		5	,	-1 & - <del></del>	7 ( <del>1                                     </del>	TO 4	<u>ч</u> /⊥			左击		÷ 00 5 5		
		指標名	1	計昇丸メ	ては指標設定	理出	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 80		t 22 年度 80	平成 23 年度	最終目標 0 1200
	数値目標	たばこ販売業者数		登録され	た販売数		件	実績		90		87 87		1200
	(事業の目的 D 及び活動内							目標		30	1	07		
	容の達成度							実績						
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計		一般	会計		款	7 商.	 工費	項	1 商.	工費	目 1 商工扱	興費
			平	成 2	1 年度決	と算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県支出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円		
D	巴汉于木貝	その他特定則				千円			千円			千円		
0		一般財	源			千円			332 ∓⊬			332 千円		
		計(A)	w #b .c .c			千円			332 千円			332 千円		
		正職員工数・約		10 人	63	千円	0.070	人	<b>429</b> 千円	0.070	人	423 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		100			0.000		0	0.000		0		
		臨時·嘱託工数·編	栓質 0.0	000 人		千円	0.000	人	0 千円		人	0 千円		
	王仲争	業費(A+B)			395	千円			<mark>761</mark> 千円			<mark>755</mark> 千円		

					チェッ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評個	fi
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少なし	, ©	大き	ŧ۱۱	たばこ販 援し市内	消費の拡	大まり	たは未成	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		年者禁煙	防止及びを営むた	安心	・安全な	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のため	に、其	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	С	ない	١	が高いで		۳ اری	も必安性	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサー b				:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	: <b>L</b> \					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	容が必	込ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い	いえ	.a	販売促進			ヌーの配 防止のポ	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化なる	ビ、施	策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	v C	いえ	.a	ケットティ	シュ配布			•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	で類値	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	い	行ってい	ます。			0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	をしても成	果の「	向上が期	待で	きない。		0	できな	い	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	る	健康重視	または大			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり_	上がって!	いない		バニダングじュニ	ハルタし	J J0	りりみり。	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成して	いる						•	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	対して十分	に目れ	標を達成	して	いると思う。		0	十分這	を成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。	)				0	高い	•	適当	¥	中元及び	歳末贈答 上で市とし			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウやタ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	対する安	全性等を			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	係で、	、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない	1	により周先	知します。			•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変	更な。	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない	١	1				•	ある	0	ない
						_	次評	·価							•	=	次評	価				
	評値	耳	必要性	有効性	ŧ	達成原	吏	効率性	総合評	価		必要		1	与効性	達成	叓	効率	生	総	合評	描
	全征	後の	3 ○ 拡大·充	3	1日北	<u>3</u> 維持	$\bigcirc$	<b>4</b> 方法改善	C ○ 民間委詞	千竿	(		<u>.</u> 大•充	宝	3 ● 現物	<u>3</u>   後持		<u>2</u> 方法改	É		B 逐	千笙
Λ		句性	○ 縮小			胡設定		廃止/休止	O ECINIZA	-				$\widehat{\Box}$	統合/終			廃止/休		<u> </u>	1341	
ACT					-									二次	評価での					の相違点	į	
10	当課		近年たばこ販するという矛盾					煙防止を呼びた。 。	かけつつ、、販	売促:	į						への影	響等につ	いて	、周知、理	■解 <i>σ</i>	)下、たば
N			阿波市内のた	≟ばこ販売美	<b>業者</b> 合	合同で講習	留会、	広報等して行	きます。			販売~	<b>〜</b> の支	援を	行ってくだ	さい。						
	委員 指摘	員会 事項																				

	No. <b>23</b> —	3 基本事務事	業名 商工	振興事	務		事務事業	業名	種別重点指導対	<b>丁</b> 策事業補	助金 公的	関与 7 シ	ート作成日 平成23	年6月15日
	部局名	産	業経済	邹	課名	名	商工観決	光課	主務課長	名	高橋弘·	ー シー	ート作成者名 井	上美恵子
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>	事業	0	3 経常的	事務事	業 ●	5 補助	<b>∣金・</b> 負担金・支	援 🗼	業運営方	: 1 直	直営 □ 3 :	全部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の	維持管理	里	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀	△ 2 -	-部委託	補助等
		基本構想(政				ちづくり			実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		商業の挑					)1 該当			_	·成 <mark>年 ☑ 期</mark> 間	引設定なし
		主要施策	(1)	商工会の	の育成			<b>(</b>	)2 非該当	木	<b>艮拠法令等</b>	Ē		
		対象(誰を、 何を)	阿波市商	i工会										
		目的(どうい う状態にし	最終的		□業、建設業 ○経営アップ					問題を提起	し、相互の	交流によりそ	の対策を検討、また専門	月分野に指導
PL			今年度											
A		具体的にどの	ような活	動を行い	いますか。	(主なもの	か5つまで	で)						
N		① 業種別研												
	事業の	② 各業種に	よる問題	点を支援し	します。									
	活動内容	3												
		4												
		5	7		D / 土 +匕 +声 =爪	た 抽 本 1	11 II		교육	左曲	_ <del></del>	00 左座	亚世 00 左曲	目幼口柵
		指標名	<u> </u>		又は指標設		単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 200		22 年度 200	平成 23 年度	最終目標 100
	数値目標	業種別講習会参加	口数	参加数に  す。	より必要性	:をみま	名	実績		69		40		100
	(事業の目的 及び活動内			, ,				目標		- 00		+0		
	容の達成度							実績						
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計			会計		款	7 商		項	1 商工		1 商工振興	# 1
				·成 2	21 年月	度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円			千円			千円		
DO		その他特定則				千円			千円			千円		
		<u>ー 般 財</u> 計(A)	源			42 千円 <mark>42</mark> 千円			450 千円 450 千円			450 千円 450 千円	-	
		正職員工数·絲	经費 ∩	010 人		42 千円 63 千円	0.070	<b>J</b>	430 千円		, l	423 千円	-	
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		O10 入		111	0.070	<u>Д</u>	720 111	0.070	<u> </u>	720 111		
		臨時·嘱託工数·		000 人		0 千円	0.000	<b>J</b>	0 千円	0.000	人	0 千円	1	
		業費(A+B)			6	<mark>05</mark> 千円			879 千円		. 4	873 千円	3	

			チェック項目		_ <u>;</u>	欠評価	一次評価の説明	月		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	<ul><li>大きい</li></ul>	商工会に経営指導、人材 に支援しています。商業		O :	少ない	● 大きい
	必	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	補助することにより、県下		O :	ない	<ul><li>ある</li></ul>
	要 性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	波市商工会の活性化に ると思います。	分子 ぐざ	0 ;	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	<ul><li>● いない</li></ul>			0 1	เงอ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	•	いえない	○ いえる	商工会の各種事業は効: ているが、商工会の会員		<b>O</b> 1	いえない	○ いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	少傾向です。時代に即し	たサー	0 1	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	ビスの提供が必要です。		Ο.	する	● しない
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる			Ο.	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標にと	とべて劣っている	自企業の経営課題対応 経営資源を活用した新た		O 1	目標に比り	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	•	あまり上	がっていない	戦略の提案を受けたこと	によっ	O d	あまり上が	っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達用	<b></b>	て、有効に活用できたとはす。	思いま	O #	概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達用	成している			O -	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	<ul><li>適当</li></ul>	コスト削減の観点から見 討します。	直しを検	O i	高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない			• .	できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	•	ある	○ ない			•	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	<ul><li>ない</li></ul>			0 ;	ある	● ない
			一次評価				二次評	価			
	評値	甲	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	′価			有効性 達成度	効率性	<b>±</b>	総	合評価
	<b>△</b> 2	多の	4   3   2   2   B   ○ 拡大·充実   ○ 現状維持   ● 方法改善   ○ 民間委詞	1笙	С	<b>4</b> ○ 拡大・充実	3 2  ┃○ 現状維持	<u>        2   </u> 方法改善	ŧ.		_ <u>B</u>
		句性	○ 縮小   ○ 統合/終期設定   ○ 廃止/休止	<del></del>				<u> </u>			J女 IL 寸
AC							マ評価での指摘事項及び			)相違点	
T-0	当課	面の !題	各業種における効果的な事業の活性化のチームワーク作りができるかと す。	いう		27 - 1 - True 10	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
N	الح	革案 実行 ·画	景気減退により、又若者の地元離れに対する気持ちをなくすよう、魅力あ の活性化のアイデア作りを考えます。	る商		1丁計画に沿つ(	進めてください。				
	委員 指摘	員会 j事項									

	No. 23 —	4 基本事務事業	第名 商工	振興事務	务		事務事業	業名 商.	工振興補助金	(青色申台	告) 公的関与	7 シ	一卜作成日 平成23年	F6月15日
	部局名	産薬	業経済部	ß	課名		商工観決	光課	主務課長	名	高橋弘一	シー	ート作成者名 井」	-美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト事	業	0	3 経常的事	務事	業 ●	5 補助	金•負担金•支	援	業運営方法	1 値	営 3 全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード 引	丰業	0	4 施設の維	持管理	理	6 内部	管理事務・その	D他 <sup>事</sup>	未理呂刀広	_ 2 -	-部委託	亅
		基本構想(政策	· · · ·			うくり			実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策		商業の振					)1 該当		成 17 <mark>年</mark>	~ 平	·成 <mark>年 ☑ 期間</mark>	設定なし
		主要施策	(1)	商工会の	育成			<u> </u>	)2 非該当	相	视法令等			
		対象(誰を、 何を)	可波市商.	工会										
		目的(どうい う状態にし	最終的	青色申告	者の指導育成	せ並び	に青色申	告制度の	)普及拡大支援	します。				
PL		たいのか) 4	今年度											
A		具体的にどの。												
N		0 11 1			受けるための	完全複	夏式簿記0	D指導						
	事業の	② パソコン用			と指導									
	活動内容	③ 講習会・講												
					互の情報交換									
		⑤ 川島税連及						弘力			- 1			
		指標名			な指標設定		単位		平成 21		平成 22		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	青色申告相談件数		相談件致 る。	により必要性	をみ	件	目標 実績		3000 1797		3000 1777	3000	3000
	(事業の目的 及び活動内			<b>ം</b>				日標		1/9/		1777		
	及び活動内 容の達成度							実績						
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会 計		一般	会計		款	7 商.	 工費	項	1 商工費		目 1 商工振興費	
			平月	成 2	1 年度》	上算	平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
			金			千円			千円			千円		
	直接事業費		債			千円			千円			千円		
D	但以于不负	その他特定財				千円			千円			千円		
0			源			千円			232 千円			232 千円		
		計(A)	***			千円			232 千円			232 千円		
		正職員工数・経		10 人	63	千円	0.070	人	429 千円	0.070	人	423 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職和		000 1	0	7 m	0.000		0	0.000	1	0 7 11		
		臨時·嘱託工数·紹 業費(A+B)	E頁 U.U	00 人		千円	0.000	人	0 千円 661 千円		人	0 655 千円		
	土冲争を	未貝(ATD)			295	十円			100			1000 十円		

				チュ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	i
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少なし	, (	大き	۴L۱	中小企業 談併せて	者の相談 企業経営	、育 の低:	成等の相 迷を健全	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある	)	な発展へ	図ることだ	が必要	です。	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	C	ない	١					0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	ilı					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	il (	いえ	.გ		、記帳継 マーネット			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	il (	いえ	.る		り有効です			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で数	頁似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しな	:U					0	する	•	しない
HEC		4.	事業の継続を	としても成果の	D向上が期	待で	きない。		0	できな	il (	でき	·る					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる		講演会の 知識を取行			0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり.	上がって	いない		援ができ		ਚ <b>ਾ</b> ।	10火、又	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね遺	重成して	เงอ						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分遺	達成して	いる						0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,				0	高い	(	適当	<b>当</b>	会員事業	所の経営ために個別			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる		でき	ない	として積	亟的に各種	重の事	業を実	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	0	) ない	١	他し〔効:	果性は高	いじゅ	0	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
						次評										次評					
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	更	効率性	総合評	·価		必要		1	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	<b>△</b> %	を の	3 ○ 拡大·充	<u>  4</u> 注   ● 現物	3 + 維 基		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙			<u>.</u> 大•充	宝宝	<b>4</b> ┃	<u>3</u> に維持	0	<u>4</u> 方法改割	É		_ <u>A</u> ]委記	4 笙
Α		句性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止	〇 民间安日	<u> </u>					統合/終			<u>万么战。</u> 廃止/休		O ECIF		<u> </u>
C			- 114									_	二次	評価での					の相違点	į	
ACT-0			専門的知識か す。	<sup>ヾ</sup> 必要な青色申	告相談事	務が	スムーズに図オ	れるよう支援す	ること					青色申告(	の普及、啓	各発に	努めてくが	どさい	。実行計	画に	公って進
N	と3 計	革案 と行 画	チームワーク <sup>.</sup> です。	作りまたは新し	 いアイデァ	— 7を出	は合い活気あん	ふれる申告会に	こなる	5=E	めてくた	<b>ごさい</b> 。									
	委員 指摘	員会 i事項																			

	No. <b>23</b> —	5 基本事務事			<u> </u>			企業	立地推進事	業		公的関与	7	シート作成日	平成23年	年6月15日
	部局名		E業経済 <sup>·</sup>		課名		観光課		主務課長		高	橋弘一		ノート作成者名		東秀和
	事業区分	● 1 ソフト			3 経常的事務				è∙負担金·支		車業温	営方法		直営		È部委託
	争未应为	○ 2 ハード			4 施設の維持		〇 6 🗗	n部管	理事務・その	の他	尹未进	呂刀法		一部委託	4 褙	輔助等
					展するまちづく	IJ			実施計画					業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平成	17 年	~	平成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	商業環境	気を備検討			<b>O</b> :	2 非該当		根拠	去令等				
		対象(誰を、 何を)	新たに立	地を検討	する企業											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	企業立地	の促進(地域経	済の活性	化、雇用	[促進]	)							
PL		たいのか)			署と企業情報の											
AN					いますか。(主な											
N		)	課、企業	局との情報	長共有のための打	打ち合わ	せ。									
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		<u>5</u>	H	-  <i> -</i>	7 / <del>1                                     </del>	14 W	<u> </u>		TI ==== 0.4	左击		T # 00	<i>F</i>		左曲	
		指標名	<u> </u>	計昇丸〉	ては指標設定理	由単		+255	平成 21	牛皮		平成 22		平成 23	牛皮	最終目標
	数値目標	企業立地数		立地数に	より有効性をみ	る 社		標 !績			3			1 -		
	(事業の目的 及び活動内							:펞 標			U			-		
	及び活動内 容の達成度							<del>惊</del> !績								
	を測る指標)							標標								
								績								
	予算費目	会 計		船	会計			商工	- 書		項 1	商工費		<b>a</b> 1	商工振り	<b>└</b> ────
	77121	_ ==	平	成 2				22	年度決算	平成			度予算		備考	
		国庫支出				f円			千円	_	•			円 メテック北村(		出があり、2
		県 支 出	金		7	f円			千円				千日	円 区画(A,B)を	造成し、	工場を建設
	*****	地 方	債		F	f円			千円				千日	中		
D	直接事業費	その他特定則	<b></b>		=	f円			千円				千日			
0		一 般 財	源		7	f円			千円				千日	円		
		計(A)			F 0	戶円			0 千円				<b>0</b> 千F	H		
		正職員工数:		120 人	<b>754</b> =	f円 0.2	50 人		1,531 千円	0.20	00 人	1,	<mark>209</mark> 千日	T)		
	人件費(B)	臨時·嘱託職														
		臨時·嘱託工数·	·経費 0.	000 人	0 =		00 人		0 千円		00 人		0 千日			
	全体事業	業費(A+B)			<b>754</b> =	f円 F円			1,531 千円			1,	<b>209</b> 千日	円		

			チェック項目		一次	文評価	一次評価の説明		二次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	景気の後退により企業立地は思 うように進んでいないのが現状で	<ul><li>少t</li></ul>	い ① 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	すが、市の活性化のためにもPR を続ける必要があります。	○ ない	<b>○</b> ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	で就ける必安かめりまり。	<u></u>	<b>●</b> ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	<ul><li>● いない</li></ul>		○ เงื	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	<ul><li>いえる</li></ul>	企業を訪れ、担当者と情報交換 をするなど、企業誘致について	<ul><li>○ เงิ</li></ul>	ない 💿 いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	の情報交換を行いました。	<ul><li>○ เงิ</li></ul>	ない ① いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		O する	● しない
KOHHOK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		<u></u> ਾਂき	ない ① できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	べて劣っている	工業団地の総会に出席し情報収 集を行うなど、一定の成果は上	○ 目標	票に比べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上か	がっていない	がりました。	○ あま	り上がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達成	 さしている		○ 概ね	建成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成			<ul><li>十分</li></ul>	}達成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	規模を縮小していく企業が多い 中では効率は上がらなくとも、地	○ 高に	\
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	道な情報収集や担当者と情報を	○ でき	る ① できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	共有することが不可欠です。	O ಹತ	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	į.		有効性 達成度 効率性	生	総合評価
	全征	を の	4   4   3   4   A   A   A   A   C   C   C   C   C   C	华	$\bigcirc$	<u> <b>4</b> </u> 拡大∙充実	<b>4  4  4</b> ┃	<b>善</b>	A 
A		句性	○ 縮小   ○ 統合/終期設定   ○ 廃止/休止		0		統合/終期設定 ○ 廃止/休		民间支配等
C			o dim a company day, where				評価での指摘事項及び一次評		違点
ACH-O		面の :題	経済情勢が不透明		le J	- 連集 し 企業で	<b>エ地の推進に努めてください。</b>		
N	と算 計	画	県担当部局と連携を強化し、情報の共有に努める。		示り	- 足坊し、正木山	L2647 正座1〜刃 6 √ 1〜C V · 0		
	委員指摘	員会 i事項							

	No. 23 —	6 基本事務事業	8 商工振	興事務		<b>=</b>	事務事業	と 一	工業振興資金	等利子神	甫給金	公的関与 7	シ	一卜作成日 平成23年	年6月15日
	部局名	産業	経済部		課名	7	<b>商工観</b> り	<b>ć課</b>	主務課長	名	高	橋弘一	シー	-ト作成者名 井_	上美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト事業	<u></u>	0 3 ?	経常的事務	事業	•	5 補助	金・負担金・ラ	と援	中希语	堂方法 🖳	1 直	[営 □ 3 ≤	<b>È部委託</b>
	争未区万	○ 2 ハード事	業	0 4 7	施設の維持	管理		6 内部	管理事務・そ	の他	尹未理	<b>国名万法</b>	2 —	-部委託 ✓ 4 衤	輔助等
		基本構想(政策				(4)			実施計画				事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策		美の振興					)1 該当		平成	17 <mark>年 ~</mark>	平	<mark> </mark>	設定なし
		主要施策	(2)商業	<b>業経営の</b>	近代化の保	建		<u> </u>	)2 非該当		根拠	法令等			
		対象(誰を、 何を)	波市商工会	会加入中/	<b>小企業者</b>										
		目的(どうい 最う状態にし	終的 中小	小企業者の	の融資の利値	更性を	図り、経	営基盤(	の安定化を促え	進します。					
P		たいのか) 今	·年度												
A		具体的にどのよ					5つまて	<u>(</u>							
N		① 阿波市商工													
	事業の	② 商工会. 中小				す。									
	活動内容	③ 商工会. 中小	小企業者の	経営を支	.援します。										
		4													
		5	l = L 4	<b>キャッ</b> ル	北無弧亡羽	B	34 / <b>1</b>		T. C. 0.	左击		파란 oo 左	t I	ᄑᅷᅆᇨᆓ	
		指標名			指標設定理		単位	目標	平成 2		13	平成 22 年月	<u></u> 12	平成 23 年度 15	最終目標 15
	数値目標	利子補給件数		F補紹件第 D有効性を	数により経済 ちみる	文	件	<del>_ 口 惊_</del> 実績			13		12	10	10
	(事業の目的 及び活動内		1,00	).H W IT (	<u> </u>			<u>天順</u> 目標			13		12		
	容の達成度						-	実績							
	を測る指標)					<del>-  </del> -		目標			+				
							ŀ	実績							
	予算費目	会 計		一般会詞	†		款	7 商:	 工費	I	頁 1	商工費	L	目 1 商工振り	興費
			平成	21	年度決	算	平成	22	年度決算	平成		23 年度予	5算	備考	
		国庫支出会	È		:	千円			千日	9			千円		
		県支出会			=	千円			千F	9			千円		
	直接事業費	地 方 信				千円			千F				千円		
D	但以于不负	その他特定財源				千円			千日				千円		
0		一般財源	京		100 -				100 ∓F				千円		
		計(A)	# 0010			千円			100 ∓F				千円		
		正職員工数·経費		人	63	+円	0.070	人	<b>429</b> 千F	9 0.07	U 人	423	千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職租			0	- m	0.000	1	0	0.00	0 1		- T IT		
		臨時·嘱託工数·経費 業費(A+B)	費 0.000	<u> </u>	0 = 163 =		0.000	人	0 千F <b>529</b> 千F		0 人		千円		
	土冲争を	表其(ATD)			103	TH			3Z9 +F	7		523	十円		

			チェック項目		—;	次評価		一次評価の	)説明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	<ul><li>大きい</li></ul>		対象事業は近[ っています。	隣自治体より	0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>				0	ない	<ul><li>ある</li></ul>
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない				0	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	•	いる	○ いない				•	いる	○ いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる		会加入者に対 経営支援に有		0	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる		柱百又及10日	<i>X</i> ) C 9 °	0	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない				0	する	● しない
HEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる				0	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標によ	七べて劣っている		22年度は、12 支援しました。	件の利子補	0	目標に比り	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がっていない	<b>小口で</b> 2	文]及しよし/こ。		0	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達用	 或している				0	概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	或している				•	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当		会との連携、活 効率的です。	性化の支援	0	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できな		刈牛的です。		0	できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	•	ある	○ ない				•	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない				0	ある	● ない
			一次評価						欠評価			
	評値	西点	必要性   有効性   達成度   効率性   総合評	価		必要性 3	有効性 <b>4</b>	達成度	<b>数率</b>	性	総	合評価
	今後	きの	3   4   3   3   A   ○ 拡大·充実   ● 現状維持   ○ 方法改善   ○ 民間委託	 E.等	С				<u></u>	<del></del>	〇 民間	_ <u>A</u> ]委託等
Δ		句性		<del>-</del>		縮小	○ 統合.	/終期設定	○ 廃止/休	北		
A C T			中小企業への支援制度は必要です。金融相談に積極的に応じ経営内容.	乃っぱ	咨 —	=	次評価*	での指摘事項	及び一次評	<u>・</u> 価との	の相違点	
		面の :題	金使途に適応した有利な制度資金の斡旋指導、会員事業所の経営支援がこれからの課題です。									
ON	¬L +	+			— - д	□小企業への	支援制度	は必要です。	実行計画に沿	つて進	めてくだ	さい。
Z			市が利子補助をすることにより市内商工業者の振興発展を図ることです。									
		員会 i事項										

	No. 23 —	7 基本事務事	業名 商工	振興事	<u> </u>	事	務事業名	阿波	森植広域商工業振	興協議会補	助金 公的関-	5 7 シ	<u>/一ト作成日   <sup>3</sup></u>	平成23年	E6月15日
	部局名	產	<b>業経済</b>	邹	課名	商.	工観光詩	E C	主務課長	名	高橋弘一	シー	ート作成者名	井上	:美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	事業	<b>●</b> 5	補助金	₢∙負担金・支	援 <sub>吏</sub>	業運営方法	1 直		3 全	部委託
	争未区刀	○ 2 ハード			4 施設の維持		0 6	内部管	管理事務・その	)他	未理呂刀広	2 -		✓ 4 補	助等
					展するまちづく	IJ			実施計画				€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		商業の振					1 該当		成 17 年	- 平	「成 年 日	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	商工会の	)育成			<b>O</b>	2 非該当	村	艮拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波麻植	[地区広域	商工会										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	阿波市・討	吉野川市の阿波	麻植地	区広域の	地域事	事業所の連携を	し活性化	・商工振興を	図ることです	<b>す</b> 。		
PL		たいのか)	今年度												
A					ゝますか。(主な	:もの5	つまで)								
N		① 協議会の													
	事業の	② 商工業の													
	活動内容		改善普及	事業の推	進を支援します。	)									
		4													
		5	7	三体士	7.4.比	<u> </u>	4 / <del>1</del>		ㅠ <del>+</del> ~	左曲	T	0 左曲	TI # 00 /	<del>-</del> ф	目幼口杯
		指標名	<u> </u>	計昇丸ノ	ては指標設定理	出	单位	]標	平成 21	午及	平成 2	2 年度	平成 23 年	中医	最終目標
	数値目標			数値設定	!になじまない			コ <u>(示</u> 実績							
	(事業の目的 及び活動内							<u>~ 慢</u> 目標							
	容の達成度							<u>-                                      </u>							
	を測る指標)							目標							
								<b>主績</b>							
	予算費目	会 計			会計		款 7	商工	費	項	1 商工費		目 1 7	商工振興	<b>具費</b>
			平	成 2	1 年度決算	平	☑成	22	年度決算	平成	23 4	丰度予算		備考	
		国庫支出				-円			千円			千円			
		県 支 出	金			-円			千円			千円			
	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則	債			-円			千円			<u>千円</u> 千円			
DO		一般財	<u>が源</u> 源		360 =	-円			千円 360 千円			360 千円	4		
		<u> </u>	//尔		360 7				360 千円			360 千円	4		
		正職員工数:	経費 0	010 人	63 =		.070 人		429 千円	0.070	7	423 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		- · · · · · ·			.5,5 )(		120 111	0.070	/\	120 111	1		
	, 20 (= /	臨時·嘱託工数·		000 人	0 =	-円 0	.000 人		0 千円	0.000	人	0 千円	1		
	全体事業	業費(A+B)			423 =				789 千円			783 千円			

				チ	ェック項目					_	-次評	価		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	
		1.					、確保できる等 グ響は大きくな		0	少なし	۰ (	)大き	÷۱۱	補助する 化に寄与	ことにより	商工 す。	会活性	0	少ない	• 7	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降第	€施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	● a	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために	、現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	С	ない	١					•	ある	O to	すい
		4.		D低下がみら ごスとなって		<b>丘隣自</b>	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	:11					0	いる	• ı	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	•	いえな	:l\ C	いえ	.გ	会員数の	)減少傾向 組織の弱			0	いえない	<b>⊙</b> ι	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	:L1 •	いえ	.る	れる厳し	い状況下	こ置た	いれてい	0	いえない	<b>⊙</b> ι	ヽえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	夏した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	ţ١	ます。この	Dような時 が必要だ			0	する	<b>●</b> ι	ない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が其	月待て	<b>ごきない。</b>		0	できな	iv 🗨	でき	る					0	できない	<b>O</b> 7	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	5と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	補助する	ことにより			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上た	うって	いないと思う	0	0	あまり.	上がって	いない		域で地域	の活性化			0	あまり上が	っていな	い
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		•	概ね遺	を成してい	いる		取り組み	ました。			•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	<b></b> して	こいると思う。		0	十分道	達成して	いる						0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	•	適当	<b>当</b>	商工業の	活性化の 高いです		補助の	0	高い	O j	<b></b> 適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	刂度を	活用できる。		0	できる	•	) でき	ない	刈未注は	一向いじり	0		•	できる	0 7	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係	で、実施引	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	<ul><li>t</li></ul>	まい
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	く ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	•	ない	١					•	ある	O to	すい
					_	·次評	严価							•	_	次評	価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	<u>'</u> 価		必要		1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評値	<b>5</b>
		 复の	3 ○ 拡大・充	3 	3_ ,状維持		<u> <b>4</b> </u> 方法改善	C ○ 民間委詞	<b>工</b> 左		<u>3</u>				<u>     3   </u> 比維持		<u>2</u> 方法改氰	É		<b>B</b> 透託	<del>55</del>
		をひり			<u> </u>	0		〇 民間委託	<del>【寸</del>		<u>○ 拡</u> ○ 縮	大·充 小	<u>天</u> ( )	<u>I ● 現ル</u> 統合/終			<u>万法以表</u> 廃止/休			リ安武	<del>寸</del>
A	73 1	.) IT	○ WIE 1.		12 20 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		<b>先</b> 亚/						)	評価での		_			の相違点	i	
40F-0	当課	面の 題	阿波市・吉野	川市の連携ま	たは事業に	内容 <i>0</i>	)見直しが必要	です。				美の振!	興に同	両市の連携	携は必要で	ごす。	阿波市は	商工:			おりま
N	と 計	画	広域連絡協議	養会で、協議を	 - - - - - - - - - - - - - - - - -	を出し	し合い活性化を	図って行きます	<b>;</b> .	3	<b>す。協</b> 請	議会も	組織开	<b>杉態、事業</b>	内容の見	直した	が必要です	す。			
	委員 指摘	員会  事項																			

	No. 23 —	8 基本事務事業	名 商工排	<b>長興事務</b>		事務事	業名 商	エ振興イベント	実施事務	公的関与 8	シ	一卜作成日 平成23年	F6月15日
	部局名	産美	業経済部		課名	商工観:	光課	主務課長	名	高橋弘一	シー	-ト作成者名 井上	_美恵子
	事業区分	○ 1 ソフト事	業	O 3	経常的事務事	事業 📗	5 補助	金•負担金•支	援 🗼	* 用学士:	1 直	[営 3 全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード事	業	0 4	施設の維持領	<b>管理</b> 〇	6 内部	管理事務・その	)他 <sup>争:</sup>	業運営方法	] 2 —	·部委託 🗸 4 補	助等
		基本構想(政策	<mark>も</mark> 5. 産	業が発展	するまちづくり	J		実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施第	<mark>も)</mark> (4)観	光の振り	<b></b>		<u> </u>	) 1 該当	平	成 17 <mark>年 ~</mark>	• 平	成 年 🗹 期間	設定なし
		主要施策	(3)祭	<b>ミり・イベン</b>	<b>小の活用</b>		С	)2 非該当	根	拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	]波市商工	会、市民									
		目的(どうい <sup>1</sup> う状態にし	<mark>是終的</mark> 商	五会が実	変施する事業や.	イベントを助	成し、地	域の活性化を図	ります。				
P		たいのか) 4	今年度										
A		具体的にどの。		かを行いる	ますか。 <u>(主</u> な	もの5つま	で)						
N		① 納涼祭補助											
	事業の	② やねこじき		助金									
	活動内容	③ はなまつり											
		4 大名行列補											
		5 青年部納涼	-			1 1 3271				- b		-	
		指標名			は指標設定理の		□ <del>       </del>	平成 21		平成 22 年		平成 23 年度	最終目標
	数値目標	イベントを参加数		ベントのす るため	参加者数を確認	人	目標		14500		4500 8000	14500	14500
	(事業の目的		9	るだめ			実績 目標		14500		8000		
	及び活動内 容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般会	計	款	7 商:	 工費	項	7 商工費	L	目 1 商工振興費	
			平成		年度決算		22	年度決算	平成	23 年度	予算	備考	
		国庫支出	金		千	円 円		千円			千円		
			金		チ	H		千円			千円		
	直接事業費		債		千	円		千円			千円		
D	但按书未良	その他特定財			千			千円			千円		
0			源		3,148 千	_		3,760 千円		3,760			
		計(A)			3,148 千			3,760 千円		3,760			
		正職員工数·経		.0 人	126 <del>T</del>	円 0.350	人	2,144 千円	0.350	人 2,116	千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職和											
	人仏士	臨時·嘱託工数·経	費 0.00	0 人	0 千		人	0 千円	0.000	<u> </u>	千円		
	全体争员	業費(A+B)			3,274 千	H		<b>5,904</b> 千円		5,876	千円		

				チュ	ック項目					_	-次評	西		_	-次評価(	の説り	明		二次	評価	
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	<u>،</u> ( •	大き	ال:	事業を実 PRする郊	:施するこ。 カ果があり	とで阿 ます。	波市を	0	少ない	• :	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	1					0	ある	<b>O</b> :	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	()					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容がず	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	い	いえ	3		l催すること とを図ること			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	•	いえな	v C	いえ	る		. 5 Ed. 9 C	_/3 - Д	1/10/0	•	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	をしても成果の	D向上が期	待で	きない。		0	できな	い	) でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		催したこと が図れま			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達成	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	上がって!	いない			7/1. (C) 1.04	.01_0	•	0	あまり上が	っていた	ìl\
	度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	している	)
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	を成して	いる						0	十分達成	している	Ó
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	•	適当	á		)額は必要 、実施事業			0	高い	<b>•</b> ;	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	できれ	ない		的であり			•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	と成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない	1					0	ある	• :	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	゚゚ゕ゙゙ある。	•	ある	С	ない						•	ある	O :	ない
						次評										次評					
	評値	西点	必要性	有効性	達成原		効率性	総合評	·価		必要	性	7	有効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	西
	<u>수</u> ?	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<u>│  3</u> E実  │	<u>3</u> 光維持		<u>2</u> 方法改善	B ○ 民間委詞	千笙	(		大・充	<u> </u>  宝		<u>     3   </u> 犬維持	•	<u>2</u> 方法改善	É		<u>B</u> ]委託	· <b>笙</b>
		句性	○ 縮小				<u>///                                  </u>	〇 民间安日	<u></u>				$\frac{\overline{\hat{C}}}{\hat{C}}$	統合/終			廃止/休		O ECIF	<u> </u>	<del></del>
ACT			- 1.2	1 - 102 - 1									二次	評価での					の相違点	į	
10	課	題	補助金の支出 リ化しています	出団体は合併前 す。	うから団体(	こ支は	出しているが実	施事業の内容	がマ	均				ベントは、		着し、:	地域の活'	性化(	こ効果が	あるとん	思われ
N	と3 計	画	関係団体と協	3議をし、事業を	開催するこ	ことに	より地域の活り	生化を図ります	•	] 	Eすが、 	内容の	の検i	討も必要で	ごす。						
	委員指摘	員会 i事項																			

	No. 23 —	9 基本事務事	業名 観光	:振興事剤	务		事務事業	業名 観:	光PR事業		公的関与	8 シ	·一卜作成日 平成23年	年6月15日
	部局名	産	業経済部	ß	課名		商工観決	光課	主務課長	名	高橋弘一	シー	ート作成者名 き	兼徹
	事業区分	<ul><li>① 1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事				金•負担金•支		業運営方法	1 直		È部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維		里	6 内部	管理事務・その	)他	未连古刀仏	√ 2 −	-部委託 <u>4 ネ</u>	輔助等
		基本構想(政				づくり			実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施		観光の振					)1 該当		成 17 <mark>年</mark>	~ 平	·成 年 ✓ 期間	設定なし
		主要施策	(5)	観光PR	舌動の強化			<u> </u>	)2 非該当	相	拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	観光客、市	市民										
		目的(どうい う状態にし	最終的	観光産業	に携わる市民	そをはじ	め、市民	全体が勧	見光で潤う街づく	りを目指す	けため観光宣伝	活動を実	<b>淫施します。</b>	
P		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの		動を行し	ヽますか。(ヨ	こなもの	05つまで	で)						
N		① ポスターの												
	事業の	② パンフレッ												
	活動内容	③ 観光キャン	ンペーンの	)実施										
		<u>4</u>												
		<u>⑤</u> 指標名	, I	11 告げて	な指標設定	畑山	単位		平成 21	左由	平成 22	左由	平成 23 年度	最終目標
		扫标在		司 昇玖メ	いる旧信政ル	上连田		目標	十八 21	10000	十八 22	<u> </u>		
	数値目標 (事業の目的	観光パンフレット配	2布数				部	実績		9000		9000		10000
	及び千動内							目標		5		3		5
	容の達成度	観光キャンペーン						実績		5		3		
	を測る指標)							目標						
								実績						
	予算費目	会計			会計		款	7 商.		項	1 商工費		目 2 観光費	
			平月	成 2	1 年度》		平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算	備考	
		国庫支出				千円			千円			千円		
		県 支 出	金			千円			千円			千円		
	直接事業費	<u>地 方</u>	債			千円			千円			千円 千円		
DO		その他特定則 一 般 財	1源 源		1,673	千円			千円 1,867 千円		11 (	970 千円		
		<u> </u>	小尔		1,673				1,867 千円			970 千円 970 千円		
		正職員工数・総	<b>译</b>	210 人	1,320		0.210	,	1,007 十円	0.210		269 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		··· /\	1,020		0.210	/\	1,230	0.210	7.			
		臨時·嘱託工数·		000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円	1	
	全体事業	業費(A+B)			2,993	千円			3,153 千円			<mark>239</mark> 千円		

				チュ	ニック項目					_	·次評ſ	西		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	. •	大き	۱٦	観光PR事 り産業の	■業を実施 活性化が	iする 図れ	ことによ ます。	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	∜況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		O低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	0	いな	U					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ı، 💿	いえ	る	観光客の	)増加と特 、地域経済	産品の活	の販売促生化が	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	•	いえな	u O	いえ	る	図れます	· ·	1 0 7 1	1111073	•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	い					0	する	•	しない
CHMC		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	ı o	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		ットの配布 ね当初の			0	目標に比べ	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	上がってし	いない		は。	14 = 10107	) Æ	<b>辿りて</b>	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	コストが高い	N <sub>o</sub>				0	高い	•	適当	á	本市の知	1名度の向	上や	、観光客	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	ロノウハウ	か新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	でき	ない	が見込め		ひる言	<b>:</b>	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						次評										次評					
	評値	甲	必要性	有効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要	性	1	剪効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
	<u>ام</u>	を の		┃ <u>  3</u> 注 ┃ ⑥ 現丬	<u>3</u> ⊹維珪		<u>      3                               </u>	A ○ 民間委i	千笙			大・充	<u> </u>  宝	3 ● 現物	<u>     3   </u> 比維持	0	<u>        3   </u> 方法改善	É		_ <u>A</u> ]委計	华
<b>A</b>		句性	○ 縮小			)	<u>/////                                </u>	〇 以间安市	<u> </u>					統合/終			廃止/休		O KIF	130	U 17
C			ं गांध उ	O 100 H 7 11	(77)11272		<i>70-7</i> (1)				<u>С</u> 111 <u>1</u> 1		)	評価での					の相違点	į	
ACT-O			阿波市により いと考えている		誘致するた	めに	、現在の観光技	<b>長興の状況を</b> 拍	巴握し	萨				との連携	を図り、さ	らには	は、隣接市	町との	の連携も	図りな	:がら事
N	と事 計	革案 実行 ·画		内外の観光関ジ はしを行います。		アン	ケートを実施し	、現在の観光に	こおけ	する	きを進め	かてくか	どさい	0							
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. <b>23</b> —	10 基本事務事			業				<b>光施設管理</b>	事業		公的関与	7 シ	/一ト作成日		年6月15日
	部局名	産	業経済	部	課名		商工観光		主務課		高	橋弘一		ート作成者名		佐 賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事				金•負担金•		車業温	営方法	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		里 ( )	6 内部	管理事務・		尹未足	当刀丛		-部委託		甫助等
					展するまちづ	くり			実施計画	1				€の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						0			平成		<b>~</b> 平	·成	F 🗸 期間	問設定なし
		主要施策	(1)	観光・交流技	処点の整備充実、	ネットワ	フーク化の推	推 <b>●</b>	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	観光客∙ⅰ	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	市内観光	<b>光施設の維持管</b>	理など	ごを行うこと	とにより、	受け入れ体	制を強	化し、観光	光客の誘致?	を図ります	す。		
PL		たいのか)	今年度													
AN				5動を行し	ハますか。(主	なもの	05つまで	•)								
N		① 観光施設														
	事業の	② 観光施設	の清掃													
	活動内容	3														
		4														
		5	7	=   <i> </i>		·ш — Т	12 /L			. /- r	<del></del> I	ᅲᄼ	<del></del>		· /- #	
		指標名	<u> </u>	計昇工.	又は指標設定	理出	単位	口抽	平成 2	21 年月	<u>艾</u> 0	平成 22:		平成 2	3 年度 0	■ 最終目標 0
	数値目標	施設に係るクレー.	ム数/年				回	目標 実績			1		0			<u> </u>
	(事業の目的 及び活動内							<u>天順</u> 目標			'		'			
	容の達成度						F	実績								
	を測る指標)							<u>- クig</u> 目標								
							ŀ	実績								
	予算費目	会 計		— — 船	会計		款	7 商	_ L費		項 1	商工費		目 2	2 観光費	
			平	. 成	21 年度決	:算	平成	22	年度決算	<b>平</b>	₽成 :	23 年月	度予算		備考	
		国庫支出			0	千円			0 Ŧ	-円			0 千円			
		県 支 出	金		274	千円			267 ∓	円		2	67 千円			
	直接事業費	地 方	債			千円				円			0 千円			
D	但以于不负	その他特定則			138				105 ∓				38 千円	4		
0		一般財	源		8,320				9,350 ∓				06 千円	4		
		計(A)	7 # 6	200 :	8,732		0.000		9,722 ∓		150 '		11 千円			
	1 /4 世 / ラン	正職員工数·網		200 人	1,257	千円	0.300	人	1,838 ∓	-円 0	.150 人	9	07 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000 1		- m	0.000		^ -	· m · ^	000 1		0			
	<b>△</b> /∤市:	臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	<b>在</b> 質 U.	000 人	9,989	千円	0.000	人	0 <del>1</del>		.000 人	0.4	0 千円 18 千円			
	土冲争。	木貝(ATD)			9,909	十円			11,000 +	- H		0,4	10 十円			

				チュ	ロック項目					_	次評値	西		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大き	い	利用者が 市が管理	快適に利 する必要			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	<b>ぬられない。</b>	0	ない	0	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない	l,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	施設等を	良好な状 までも安心			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえなし	, O	いえる	3		なっていま		יות ככ	•	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	類似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	۸,					0	する	•	しない
HUC		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待で	ぎきない。		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	<u>る</u>		設を目指			0	目標に比	べて劣っ	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	ハない			態に保た			0	あまり上が	っていた	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	している	5
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	している	3
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, <b>\</b> _0				0	高い	0	適当	i		域を目標に ています。		業務費	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	できた	ない	を抑制し	といみり。			•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	ヹがある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更な	よどにより	コス	ト削減の余地	ヹがある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
				_		次評					•					次評	-				
	評値	三点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	·価		必要	性	<b></b>	与効性 2	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	全名	後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<u> </u>	<u>  3</u> 		<u>2</u> 方法改善	<b>○ 民間委</b> 記	千笙			大・充	<u></u> 宝		<u>3</u> に維持		<u>2</u> 方法改善	É		_ <u>B</u> ]委託	-
Λ		対性	○縮小		· 斯設定		<u> </u>	O EVINISTI					$\widehat{\bigcirc}$	統合/終			<u> </u>		O POIL	- X H	
ACT						•							二次	評価での		頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		<b>画の</b>	施設の老朽仏	とに伴う修繕費	の増加が	見込ま	まれます。														
10	課	趄																			
N	改造	[案			15.			A - 11 11			行計画	画に沿	って	進めてくだ	さい。						
	と事	[行		記まれる施設を )推進が必要で		、利仍	更性を考慮した	安全で効率的	な連盟	営に											
	計		), ), ), (), (), ()																		
	委員 指摘	€会 事項																			

	No. 23 —	11 基本事務事業名	<b>観光振</b>	興事業		事務事簿	業名 公園	(他に属さない)及び几	広場の管理補	助金 公的	関与 7   :	シート作成日	平成23年	F6月15日
	部局名	産業	経済部		課名	商工観決	光課	主務課長	名	高橋弘		/一ト作成者名	岩位	左 賢二
	事業区分	○ 1 ソフト事業			経常的事務事			金•負担金•支		業運営方		直営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	)他 <sup>丁</sup>	未连舌刀		一部委託	✓ 4補	助等
		基本構想(政策)						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)					<u> </u>	1 該当		成		平成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2)公園	<b>!</b> 緑地	の管理体制の表	定実	0	2 非該当	村	拠法令等	等			
		対象(誰を、 何を)	園の利用者	Í										
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最) 分状態にし	終的 市民	この憩い	の場、レクリエー	ションの場	まとして、市	<b>市民が快適で楽</b>	しく利用で	きる環境	づくりに努める	ます。		
PL			年度											
AN		具体的にどのよ		を行いま	ミすか。(主なも	の5つまで	で)							
N		① 公園内の除草	草·清掃											
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5	1-14						, _		, .			
		指標名	計算	引又た	は指標設定理由	単位		平成 21	年度	平成	22 年度	平成 23	年度	最終目標
	数値目標	除草•清掃回数/年				回	目標		1			1	1	1
	(事業の目的						実績		ı					
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						目標						$\longrightarrow$	
							実績							
	予算費目	会 計	<u> </u>	一般会	: <b>i</b> t	款	7 商二	 L 費	項	1 商工		目 2	 観光費	
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<b>—</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算		備考	
		国庫支出金	È		0 千円			0 千円				円		
		県 支 出 金	Ž		0 千円			0 千円			千F	<del>円</del>		
	直接事業費	地 方 債			0 千円			0 千円			<del>f</del> F	<b>円</b>		
D	旦汝尹未貝	その他特定財源	Į		0 千円			0 千円			千F	円		
0		一般財源	Į		117 千円			117 千円			117 ∓F			
		計(A)	910 910 910 910 910 910		117 千円			117 千円			<b>117</b> ∓F			
	1 til =th (= )	正職員工数·経費		人	628 千円	0.100	人	613 千円	0.100	人	604 ∓F	<del>피</del>		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種		, ,		0.000	, ,		0.005					
		臨時·嘱託工数·経費	0.000	人	0 千円		人	0 千円		人	0 ∓F			
	■ 王体事 3	業費(A+B)			745 千円			730 千円			<b>721</b> 千F	<del>'</del> 11		

				チェ	ック項目					_	次評値	西		_	-次評価(	の説り	明		二次	評価	i
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少ない	•	大き	い	利用者が 市が管理				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	0	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	施設等をにより、誰				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	۰, O	いえる	<b>3</b>	る状態に			יות ככ	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で類	頁似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	•	する	0	しなし	۸,					•	する	0	しない
HEC		4.	事業の継続を	をしても成果の	D向上が期	待で	<b>ぎきない。</b>		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	安全な公 除草(清				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	, <sub>0</sub>	0	あまり上	がってし	ハない		により、良			たれてい	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる		ます。				•	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	0	適当	i	コスト削減制している		補助	金を抑	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	)新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	できた	ない	mij C C C V A	<b>Д</b> У 0			•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
						次評										次評	-				
	評値	三点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	<del>'</del> 価		必要	性	7	与効性 2	達成	芰	効率性	生	総	合評	·価
	今後	後の	<del>4</del> ○ 拡大·充		3 犬維持		<u>2</u> 方法改善	B   ○ 民間委詞	托等			 大・充	<u></u> 実		<u>3</u> に維持		<u>2</u> 方法改善	Ę		<u>B</u> 『委言	 f.等
Δ		対性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止	0 2017321	-		)縮		Ô	統合/終			廃止/休		0 101		
ACT				•	•								二次	評価での		頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		回の	施設の老朽仏	とに伴う修繕費	の増加がり	見込ま	まれます。														
Ī	課	瓼																			
N	改造	[案									行計画	画に沿	って	進めてくだ	さい。						
	と事	[行		まれる公園を目 生進が必要です		引使性	生を考慮した安	全で効率的な	運宮(	こ努											
	計	쁴	1																		
	委員 指摘	€会 事項																			

	No. 23 —	12 基本事務事			•				(他に属さない)及び公会	衆トイレの管理:				年6月15日
	部局名	卢	<b></b>	·部	課名		商工観決	<b>光課</b>	主務課長	名	高橋弘	ムーシー	ート作成者名 岩伯	左 賢二
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的	事務事業			金・負担金・支		業運営力	1 直	」	≧部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の約	推持管理	<b>I</b>	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂力	2 -	-部委託 □ 4 ネネ	助等
		基本構想(政	(策) 3.	美しい環	境のまちづく	くり			実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施						<u> </u>	)1 該当	平	成	年 ~ 平	· <mark>成 年 ☑ 期間</mark>	設定なし
		主要施策	(2	)公園•緑	地の管理体	制の充	実	С	)2 非該当	木	艮拠法令	等阿波市土柱自然	公園及び阿波市休養村ふれあい公園の設	置及び管理に関する条例
		対象(誰を、 何を)	観光客·	市民										
		目的(どういう状態にし	最終的	市内観光	<b>光施設の維持</b>	管理など	ごを行うこ	とにより	、受け入れ体制	を強化し、	観光客の	)誘致を図ります	<b>†</b> .	
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの		舌動を行い	<b>いますか。</b> (	主なもの	05つまで	で)						
N		① 公園内の												
	事業の	② 公園内の												
	活動内容	③ 遊具の点	検											
		4												
		5	-	1-1										
		指標名	<u> </u>	計算式	又は指標設定	2理由	単位		平成 21			22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	除草回数/年					回	目標		3		3		3
	(事業の目的							実績 目標		3		3		8
	及び活動内 容の達成度	遊具点検回数/幼	Ŧ				回	<u>日保</u> 実績		8		8		8
	を測る指標)	清掃回数/年						目標		12		12	12	12
								実績		12		12		
	予算費目	会計			会計		款	7 商.		項	1 商		目 2 観光費	
				₽成 2	21 年度		平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出				0 千円			0 千円			0 千円		
		県 支 出	金			0 千円			0 千円			0 千円		
	直接事業費	地 方	債			0 千円			0 千円			0 千円		
D		その他特定				0 千円			0 千円			0 千円		
0		<ul><li>一般財</li><li>計(A)</li></ul>	源		5,47				5,470 千円			5,350 千円		
		正職員工数:	奴弗 ○	.050 人	5,47	0 千円 4 千円	0.300	1	5,470 千円 1,838 千円		1	5,350 千円 907 千円	-	
		臨時·嘱託耶		.030 人	31	+ +	0.300	<u> </u>	1,030 干円	0.130	<b>^</b>	907 TH		
		臨時·嘱託工数·		.000 人		0 千円	0.000	, l	0 千円	0.000	, l	0 千円		
		業費(A+B)	,150	.500 人		4 千円	0.000	<u> </u>	7,308 千円		<u> </u>	6,257 千円	1	
	エバナノ	1, 54 (/ \ \ \ \ \ )			5,70				7,000			J,EU7   113		

				=	エック項	目				_	次評値	西		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	i
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	0	大きし	Ņ	利用者が 市が管理	快適に利 する必要			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、炎	7年度以1	4実施す	する緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために	. 現在 <i>σ</i>	手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート			近隣目	自治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	0	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業	内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3		良好な状 性でも安心			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など	、施策へ	の貢献度	₹が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3		なっている		יות ככ	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	:類似・	直複した	と事務事業が存	在する。	•	する	0	しなし	,1					•	する	0	しない
CHMC		4.	事業の継続を	としても成界	の向上が	が期待で	できない。		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗な	だ況が劣~	っている	ると思う。		0	目標に	七べて貧	劣っている	გ		を管理業			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果だ	「あまり_	こがって	ていないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		ています		1人没1	- 体/_16	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	<b></b> してし	いると思う。		•	概ね達	或してし	いる						•	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を迫	達成して	ていると思う。		0	十分達	成してに	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	らい。				0	高い	0	適当			或を目標に 制している		委託業	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	つや新たり	お制度を	を活用できる。		0	できる	0	できた	ほい	か見てい	m ј С С С С С С С С С С С С С С С С С С	<b>+</b> 7 °		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係	で、実施	<b>拖手段等</b>	<b>等を見直す余地</b>	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などに。	こりコス	スト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない		1				0	ある	•	ない
						一次評					1					次評					
	評値	甲	必要性	有効性	達	成度	効率性	総合評	′価		必要	性	1	与効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> %	を の	<b>4</b> ○ 拡大·充	3	<u> </u> 見状維持	<u>3</u>	<u>│  <b>4</b></u> ○方法改善	A ○ 民間委詞	1生		4 \ tr\ -	 大•充	<u>+</u>	3 ● 現物	<u>3</u>   維持		<u>4</u> 方法改善	É		<u>A</u> 引委記	华
		句性	○ 縮小		終期設定	)		〇 以间安市	<u> </u>				$\frac{\overline{2}}{2}$	統合/終			廃止/休			1)女巾	L #
ACT	75.	- !-	ं गाम उ	O 196 E 7	11/2/11/2/	<u> </u>	<i>7</i> 00 - 71 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 -				2 11III	_		評価での					の相違点	į	
10		面の !題	施設の老朽化	とに伴う修繕	費の増加	が見込	まれます。				/-=I-			24 H 7 L	> <b>.</b>						
N	と事	革案 実行 ·画	観光客・市民: 的な運営に努				指して、利便性	を考慮した安全	全で交		1丁訂[	쁴(⊂沿)	つ ( ;	進めてくた	:eい。						
	委員 指摘	員会 i事項																			

	No. <b>23</b> —	13 基本事務事業	名消費	者行政批	推進事務		事務事業	業名 消	費者協会支援	事業	公的関与	7 シ	ート作成日 平成	23年6月15日		
	部局名	産ӭ	業経済部	ß	課名		商工観決	<b>光課</b>	主務課長	名	高橋弘一	シー	−ト作成者名	井上美恵子		
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事	務事	集 ●	5 補助	金・負担金・支	援	業運営方法	1 直		3 全部委託		
	争未应力	○ 2 ハード事	•		4 施設の維		里	6 内部	管理事務・その	の他	未连舌力広	_ 2 -	-部委託 ☑	4 補助等		
		基本構想(政策				J			実施計画			事業	の開始・終了			
	総合計画	基本計画(施策			策の充実				)1 該当		·成 17 <mark>年</mark>	~ 平	·成 年 🔽	期間設定なし		
		主要施策	(1);	肖費者教	(育・啓発の	推進		С	)2 非該当	村	艮拠法令等					
		対象(誰を、 何を)	費者・消	費者協会	会(阿波•市場	・土成	·吉野)									
		目的(どうい 量う状態にし	是終的 ī	市民の健	在な暮らしや	生活σ	)向上、消	費者問題	題意識の高揚及	び消費者	トラブルの防山	を目的とし	します。			
PL		たいのか) 4							のつどいが阿沥	皮市で開催	で開催されます	す。活動報	告、展示、即売、講	寅会等行います。		
A		具体的にどの。				こなもの	か5つまで	で)								
N		① 消費生活展														
	事業の	② 消費者相談														
	活動内容	~														
		<u>4</u> 5														
		$\sim$	1:	三生士	7 / 土 + 匕 + 襾 = 几 亡	тш ႕ [	14 /T		T T C 04	左曲	<del></del>	左曲	ᄑᅷᇮᇨᄨ			
		指標名			は指標設定		単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 200	平成 22	<u>年度</u> 200	平成 23 年度	最終目標 200		
	双胆口尔	安心·安全料理講習 会数		育報を提↑ 者数を図√			名	実績		300		200		200		
	(事業の目的 及び活動内			日级飞四	<del>ا</del>			目標		300		200				
	容の達成度							実績								
	を測る指標)					-		目標								
								実績						_		
	予算費目	会 計		一般	会計		款	7 商.	 工費	項	1 商工費		目 3 消費者	<b>首行政推進費</b>		
			平月	<b>或</b> 2	1 年度》	と算	平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算	備	考		
		国庫支出:	金			千円			千円			千円				
			金			千円			千円			千円				
	直接事業費		債			千円			千円			千円				
D	但以于不负	その他特定財				千円			千円			千円				
0			源			千円			282 千円			193 千円				
		計(A)	# 0 :	00	282		0.050	, ,	282 千円			193 千円				
		正職員工数·経		00 人	628	千円	0.250	人	1,531 千円	0.250	人 1	<mark>511</mark> 千円				
	人件費(B)	臨時·嘱託職和 臨時·嘱託工物。終		00 1		- m	0.000		0	0.000	1	0 7 11				
		臨時·嘱託工数·経 業費(A+B)	頁 0.0	00 人		千円	0.000	人	0 千円 1,813 千円		人 1	0 千円 704 千円				
	土冲争を	未貝(ATD)			910	十円			1,813 十円			704 十円				

				チ:	こック項目					_	次評	西		-	-次評価	の説	明		二次	評価	i
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	•	) 大き	い		を狙った 大きな不			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		故・事件: ・必要です	が多く発生 -	こして	いるので	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	0	ない		必安です	0			•	ある	0	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いなし	ı					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	<i>y</i>	いえる	3		全な食べれ		D消費拡	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	`/ O	いえる	3	)(ICIO1	·17// ( )	0		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	۸,					0	する	•	しない
CHMC		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	γ <u> </u>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		。 会会員♂ 、講演会			0	目標に比	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がな	あまり上か	うて	いないと思う	0	•	あまり」	_がってし	ハない		た。	八冊供五	<del>रा</del> । <del>॥</del> ।।	<b>正しみし</b>	•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	<u>გ</u>
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, <b>\</b> _0				0	高い	0	適当	i		の育成を			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	で残りたす。	見加入に	- U 共J	14 CG &	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	よどにより	コス	ト削減の余地	!がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
					_	次評	価							•	=	次評	価				
	評价	三	必要性	有効性	達成	叓	効率性	総合評	<u>'</u> 価		必要		7	与効性	達成	叓	効率	生	総	合評	価
		きの	3 ○ 拡大·充	<b>4</b> 宋 (	<u>┃  2</u> 犬維持		<u>      3                               </u>	B ○ 民間委i	<b>工</b> <del>位</del>		3		<u> </u>	<b>4</b> │ ○ 現∜	<u>2</u>	•	<u>3</u> 方法改善	É		<u>B</u>	1.生
		<sub>友の</sub> 句性			以推行 以期設定		<u>万法以苦</u> 廃止/休止	〇 民間委託	一		<u>)拡:</u> ○ 縮:	大·充	<u>夫</u>	<u>↓ ○ 現1</u> 統合/終	大維持 知設定		<u>万法以表</u> 廃止/休		○ <b>民</b> 間	少百	t寺 ———
A	73 1	-) II	○ MH.1.		对以还	O	<b>冼</b> 亚/					_	)		)指摘事]				の相違点	<u> </u>	
ACT-O				約トラブル等 <i>0</i> けることが求る			あたり消費者協	会会員の資質	向上		₽∕ <del>⊊</del> ≣∔ï			進めてくた		<u> </u>	<u> </u>	<u>, ш.с.</u>	or lake m		
N	と 計	画					のため、県消費 等開催します。	者生活情報セ	ンター	1	ין והנוי	<b>≝1</b> ⊂/□	J (:	正な) こくだ	-Cv' <sub>0</sub>						
	委員 指摘	員会 i事項																			

	No. <b>23</b> —	14 基本事務事	業名商工	_ 上振興業績	············ 務		事務事業	美名 工業	<b></b> 【団地管理業	務	公的	関与 6	シート作成日	平成23年	F6月15日
	部局名	產	<b>業経済</b>	部	課名	Ī	商工観光	<b></b> 往課	主務課長	名	高橋弘	ー シ	ート作成者名	坂	東秀和
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	•	3 経常的事	務事業		5 補助3	金・負担金・支	ī援 <sub>事</sub>	業運営方	·I	直営	3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維			6 内部管	管理事務・その	の他 <sup>事</sup>	未连占刀		一部委託	4 箱	亅
		基本構想(政				うくり			実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		工業の扱					1 該当		·成 17			✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	企業誘致	女の推進			<u> </u>	2 非該当	<b>†</b>	艮拠法令等	<b>∮</b> 阿波市:	工場設置奨励条	:例	
		対象(誰を、 何を)	西長峰工	業団地及	び土成工業団	地									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	工業団地	の適正な維持	管理を	行い、企	:業誘致に	に繋げる						
PL		たいのか)	今年度	工業団地	の適正な維持	管理									
A		具体的にどの			ヽますか。(主	なもの	5つまて	<u>(</u>							
N		① 工業団地													
	事業の	② 西長峰工	業団地巡	回監視											
	活動内容	3													
		4													
		<u>⑤</u> 指標名	ל	はなっ	スは指標設定	畑山	単位		平成 21	左曲	l <del>vet</del>	22 年度	平成 23	左庇	最終目標
	No. 6-6 1			引 昇 丸 ノ	くは相信改化	-		目標	十八 21	<u> 平及</u> 85.000		85.00		<u> </u>	取於日信 85,000
	数値目標 (事業の目的	除草面積		工業団地	!の管理		m <sup>*</sup>	<u> </u>		85,000		85,000		00,000	00,000
	及び活動内							目標		00,000		00,00			
	容の達成度						İ								
	を測る指標)							目標							
								実績							
	予算費目	会計			:会計		款	7 商コ		項	1 商工			工業団地	.管理費
				成 2	11 年度》		平成	22	年度決算	平成	23	年度予算		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円			
		県 支 出	金		1,724				2,504 千円	+		1,516 千円			
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則	債			千円 千円			<u>千円</u> 千円			千P 千P			
0		一般財	源源		610	千円			959 千円						
		<u> </u>	冰		2,343				3,463 千円			2,234 千F 3,750 千P	_		
		正職員工数:	経費 0	110 人	691		0.110	7	674 千円		7	665 <del>1</del> F			
	人件費(B)	臨時·嘱託暗		, (	301		33			510	, \ <u> </u>	11	Ť		
		臨時·嘱託工数·		000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	<b>0</b> 千P	9		
	全体事	業費(A+B)			3,034	千円			<b>4,137</b> 千円			<b>4,415</b> 千円	9		

				チェ	ック項目					_	次評(	西		_	-次評価(	の説	明		二次	評価	5
		1.					、確保できる等 グ響は大きくな		0	少ない	•	大き	ı١		完売のた 良好な状			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	<b></b> 状況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		管理が必	め要です。			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	<b>设、</b>	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.		)低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	字が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	١ (	いえ	る		2、調整池 に保つこ			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、:	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	١	いえ	る		いせませ		くり 成心	0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果σ	)向上が期	待て	<b>ぎきない。</b>		0	できなし	,	できる	გ					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	七べてá	劣ってい	る		・市道・調 ・砂の浚渫			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果があ	ちまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		地帯の隙	草を必要	に応し	じ施して	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる			また、工業 養務を月6			•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	いる			な状態に係			0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,				0	高い	•	適当	á		業団地管 、札を実施			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ゆノウハウャ	5新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	落札され	ています。	また	緑地帯	0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	成果の関係で	ご、実施手	段等	Fを見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	•	ない		施してい	こついても るため、こ	れ以.		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	よどにより	コス	く ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない		は難しい	状況です	0		0	ある	•	ない
						次評									=	次評					
	評値	引	必要性	有効性	達成原	更	効率性	総合評	価		必要	性	7	与効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
		後の		<b>  4</b> :実   ● 現物	<b>4</b>		<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委i	工学		4	大•充	<b>-</b>	<b>4</b> ● 現物	<u>     3   </u> 犬維持		<u>4</u> 方法改割	É		A 表	1年
		り性	○ 縮小	○ 統合/終		0	<u>万压以告</u> 廃止/休止	〇 民間委託	<del>1寸</del>					<u>₩</u> 統合/終			<u>万压</u> 以是 廃止/休			少	<del>। ज</del>
A	731.	711	○ WIE • 1 ·		为成化		<b>完</b> 亚/				<u> </u>		)		指摘事項				の相違点	į	
ACT		面の	不法投棄の防	= 1F										.ш. іш.	1 1 1 1 1		, , , , ,	<u></u>		•	
Ī	課	題	インは技業の別	J111-0																	
ON	ᄀᄂᅼ	+#								——実	行計画	画に沿	って	進めてくた	さい。						
	と事		巡回業務を強	化するとともに	除草作業	回数	を増やし、不法	投棄を抑止しる	ます。												
	計																				
	安原 指摘	€会 事項																			

	No. 23 —	15 基本事務事業名	工業団地誘致	(業務	事務事業	名工業	<b>美団地誘致事</b> 和	务	公的関与 7	シー	-卜作成日 <sup>-</sup>	平成23年	6月15日
	部局名	産業約	圣済部	課名	商工観光	課	主務課長名	3	高橋弘一		~作成者名		東秀和
	事業区分	● 1 ソフト事業		3 経常的事務事			金·負担金·支		運営方法				部委託
	争未区力	○ 2 ハード事業		4 施設の維持管理	里   ○ 6	内部管	管理事務・その	他	医百万丛		8委託	4 補	助等
		基本構想(政策)					実施計画				)開始•終了		
	総合計画	基本計画(施策)					1 該当	平成		1 77		✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策	(3)企業誘致	の推進		0	2 非該当	根拠	見法令等 エ	場設置奨	<b>基励条例</b>		
		対象(誰を、 何を)	団地進出者										
		目的(どうい 最終う状態にし	冬的 企業誘致(	こよる西長峰工業団	団地の完売								
PL			<b>手度</b> 西長峰工	業団地への早期誘	致を目指す								
AN		具体的にどのよう			の5つまで)	)							
N			情報の共有を行	う。									
	事業の	2											
	活動内容	3											
		4											
		5	1=1 / <del>/</del> / <del>-</del>   <del>-</del>		24 II		T 4 0 1	<i></i>	T + 00 F	<del>-</del> -		F # 1	
		指標名	計昇式乂	は指標設定理由	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 3	平成 22 年		平成 23 4	中度	最終目標
	数値目標	西長峰工業団地	区画完売	数	区画	実績		0		3			<u></u>
	(事業の目的 及び活動内					日標							
	容の達成度					実績							
	を測る指標)					目標							
						実績							
	予算費目	会計	一般含	会計	款	7 商工	- 費	項	商工費		目 4 二	工業団地	管理費
			平成 21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年度	予算		備考	
		国庫支出金		0 千円			0 千円			) 千円			
		県 支 出 金		0 千円			0 千円			) 千円			
	直接事業費	地 方 債		0 千円			0 千円			) 千円			
<b>D C</b>		その他特定財源		0 千円			0 千円			) 千円			
0		一般財源		0 千円			0 千円			・千円			
		計(A) 正職員工数·経費	0.100 人	0 千円 628 千円	0.310 J		0 千円 1,899 千円	0.310 人		十円			
	人件費(B)	蓝時·嘱託職種	0.100 人	028 十円	0.310 /		1,099 十円	U.31U A	. [ 1,8/4	<mark>1</mark> 千円			
		臨時·嘱託工数·経費	0.000 人	0 千円	0.000		0 千円	0.000 人		) 千円			
		業費(A+B)	0.000 /	628 千円	3.000 )	`	1.899 千円	3.000 )(	The same of the sa	1 千円			

				チ	ェック項目					_	次評	西		_	-次評価(	の説	明		二次	:評価	ī
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	0	) 大き	U	市の活性された県	営工業団	地への	の誘致が	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	<sup></sup>	年度以降実	ミ施す	トる緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		重要であ	り、県と市 ていく必要			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために	、現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		す。	ていて必多	さはかい	めりま	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			[隣自	目治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	<i>γ</i>	いえる	<b>8</b>	県と連携 報を共有	することで L 四温ナ	お互合の業	いの情	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	レネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	`/ •	いえる	<b>3</b>	展開でき		* 正 未	10万五人门。	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	した	と事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	Į, i					0	する	•	しない
CHUC		4.	事業の継続を	しても成果	の向上が期	得て	<b>できない。</b>		0	できな	γ <u> </u>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状	<mark>況が劣って</mark>	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	工業団地県、市に				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	うて	こいないと思う	0	0	あまり」	_がってし	ハない		明であり、	企業の近			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる		至ってい	ません。			•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	コストが高	い。				0	高い	0	適当	i	県が分譲 職種を広				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	0	できた	ない	しているの	ので結果、	問い	合わせ	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	等を見直す余地	!がある。	0	ある	0	ない		件数は以 す。	前に比べ	増え	ていま	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評					•			•		次評					
	評値	引	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	′価		必要	性	7	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	<b>△</b> ′	後の		4 	_ <b>  3</b>  状維持		<u>  4</u> 方法改善	A ○ 民間委i	工学		<u>4</u> )拡:	大・充	<b>+</b>	<b>4</b> ┃	<u>3</u> に維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 目表:	1年
		り性	○ 縮小		<u>/ 依無符</u> 終期設定	0		○ 氏间安計	一					<u>統合/終</u>			<u>万云以</u> 廃止/休			少	L <del>Ţ</del>
A	751	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	ं गंगी ग				光亚/				<u> </u>	_	)	評価での					の相違点	į	
ACT-O	当武課	面の 題	経済情勢の悪	<b></b>							11.44									<u> </u>	
N			県担当部局と	の連携を強化	とする。					 	€€建物	秀し、信	<b>⋾</b> ¥収4〉	又集を図り	、止耒誘到	χUJĀ	:進Ⅰ〜分∜	) C < 1	<b>∶</b> ⇔,		
	委員 指摘	€会 事項																			

	No. 23 —	16 基本事務事業	名道の調	駅管理	事務		事務事業	作名 道の	の駅管理事務		公的関与	6 シ	一卜作成日 日	F成23年	6月15日
	部局名	産業	<b>美経済部</b>	I	課名	1	商工観光	<b></b>	主務課長	名	高橋弘一	シー	ト作成者名	吉	兼徹
	事業区分	○ 1 ソフト事	•		3 経常的				金·負担金·支		業運営方法	1 直			部委託
	<b>子木巨</b> 刀	○ 2 ハード事	- 1 -		4 施設の		理   〇	6 内部	管理事務・その	)他 T	<b>术是日乃</b> [五		-部委託 [	4 補	助等
		基本構想(政策				づくり			実施計画		-		の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策		見光の振				0			成 年	~ 平	成 年 [	✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策	(1)観:	光•交流拠	l点の整備充写	実、ネット「	フーク化の打	推進 <mark>●</mark>	2 非該当	植	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	[路利用者	首及び市	民										
		目的(どうい 量う状態にし	是終的 這	<b>道路利用</b>	者や市民な	どの利値	更性の向_	上及び道	の駅としての情	報提供の	充実				
PL		たいのか) 4	7年度												
AN		具体的にどの。						(S)							
N		① 道の駅「どた					定								
	事業の	② 利用者の増	加するた	:めPRを	積極的に行	います。									
	活動内容	3													
		4													
		5	1=	1 25	7 / 上 +1-、1	<b>-</b>	22 / <b>1</b>		T. # 04	左击	<del></del>	<i>F</i>	TI # 00 #	e etc	
		指標名	ā	∏昇スク	ては指標設	<b>正理田</b>	単位	目標	平成 21	<u>年度</u> 25000	平成 22	<u>年度</u> 25000	平成 23 年	F及 25000	最終目標 25000
	数値目標	道の駅利用者					人	実績		28860		25806		23000	25000
	(事業の目的 及び活動内							<del></del> 目標		20000		20000		+	
	容の達成度							実績							
	を測る指標)							目標						-	
								実績							
	予算費目	会 計		一般	会計		款	7 商二	L 費	項	1 商工費		目 2 崔	見光費	
			平成	ኒ 2	1 年度	決算	平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算		備考	
		国庫支出:				千円			千円			千円			
			金		2,30				2,300 千円		2,3	300 千円			
	直接事業費		責			千円			千円			千円			
D		その他特定財			13				千円			千円			
0			原		1,86				1,142 千円			617 千円			
		計(A) 正職員工数·経	費 0.21	10 1	4,29 1,32		0.210	1	3,442 千円 1,286 千円	0.210		917 千円 269 千円			
	人件費(B)	蓝時·嘱託職科		10 人	1,32	U TH	0.210	<u> </u>	1,200 十円	0.210	<u> </u>	TH BU			
		臨時·嘱託工数·経		00 人		0 千円	0.000	λ	0 千円	0.000	λ	0 千円			
		業費(A+B)	5.00	- /\		5 千円	0.000	/\	4,728 千円	0.000	5.	186 千円			
		1,700 (7)			-,01				1,1=0		•				

					ツク項目					<b>—</b> :	次評値	西			-次評価(				二次	評価	i
				くても、公平 事業を廃止・					0	少ない	0	大き	١١	地域の温	者や阿波  性化を促	進し	見光等の	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	度以降実施	施する	緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		拠点とし	て設置して と置してあ	いま	す。ただ	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	と、方法	去等の改善の	余地がある。	•	ある	0	ない		老朽化し	ており改き	善しな	成成品が ければ	•	ある	0	ない
		4.		)低下がみられ ごスとなってい		隣自治	は体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	い	ならない	と考えます	0		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必ず	ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	る	道の駅と できてい	しての機能	能は十	-分達成	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢献	献度が	著しく高いと	:はいえない。	0	いえなし	,	いえる	る	C = C 0.	<b>Ф</b> У 0			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複	した事	務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	L١					0	する	•	しない
CHUC		4.	事業の継続を	としても成果σ	)向上が期待	待でき	ない。		0	できない	• •	できる	3					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対	けして進捗状況	ぴ劣ってし	いると	:思う。		0	目標によ	とべて針	岩ってい	る		しての機能			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	5まり上が.	ってい	ないと思う	0	0	あまり上	がってし	いない		れます。	今後正確	な利用	者を調	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	ている	と思う。		•	概ね達別	述してに	いる		査してい す。	く必要があ	56E	思いま	•	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	けして十分に目	標を達成	してい	ると思う。		0	十分達	求してに	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当	á		託契約の まり評価で			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ロノウハウギ	)新たな制度	度を活	用できる。		•	できる	0	できた	ない	れます。	みり町Щく	- C'A	o・C心1/	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	:、実施手	段等を	見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより:	コスト	・削減の余地	がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
					<u>—</u> г	欠評価	5							•	=	次評	価				
	評値	计	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性	総合評	価		必要	性	1	与効性	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
	<u></u>	後の	3 ○ 拡大·充	<b>  4</b> :実	3  : 維性	<u></u> し	<b>2</b> ī法改善	<b>B</b> ○ 民間委i	1生		3 \ tr\tau	大・充	<u> </u> :宝		<u>     3  </u> 犬維持		<u>2</u> 方法改氰	É		B ]委記	华
		り性	○ 縮小				<u> </u>	〇 以间安市	<u> </u>					統合/終			廃止/休			女巾	L #
A C			ं गाम उ		. 741HX /C	<u> </u>	, i i i i i i i i i i i i i i i i i i i				V 4111	_	)		)指摘事」				の相違点	į	
ACT-0	当武課		施設及び設備 す。	が老朽化してい	いるため、県	<b>果との</b> †	協議を重ねる	<b>対善を図りたい</b>	と考え	えま										-	
N	改革	古安								——指	定管理	里者と	連携	し、効率的	りな管理運	営に	努めてくた	きさい。	0		
		₹行	老朽箇所を点	検し必要がある	る箇所につい	いては	県と協議の	うえ修繕を実施	īしま <sup>.</sup>	す。											
	委員	€会 事項																			

	No. 23 —	17 基本事務事業	<sup>業名</sup> 道 σ.	)駅管理	事務		事務事業	<b>美名</b> 土成	地域資源活力工	房指定管理	業務 公的関与	6 シ	一ト作成日 :	平成23年	6月15日
	部局名	産	業経済	邹	調	<b>果名</b>	商工観決	<b>七課</b>	主務課長	名	高橋弘一	シー	−ト作成者名	吉	兼徹
	事業区分	○ 1 ソフト事				的事務事			金・負担金・支		業運営方法	1 直		□ 3 全	部委託
	争未四万	○ 2 ハード				の維持管理	理	6 内部	管理事務・その	)他	未连古刀仏	✓ 2 —	-部委託	4補	助等
		基本構想(政策				きちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施第		観光の捌				0	1 該当		成 年	~ 平	成年	☑期間	設定なし
		主要施策	(1)	見光•交流扱	心点の整備	充実、ネット'	フーク化の	推進 🕒	2 非該当	植	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	道の駅「と	どなり」内に	こある土店	戓地域資源	活力工房	(もてなし	の館)						
		目的(どうい う状態にし	最終的	道路利用	者∙観光	客∙地域住	民などの	利便性の	向上及び市内額	観光等の挑	心点とした地域	の活性化を	を図ります。		
PL			今年度												
A		具体的にどの	ような活	動を行し	いますか。	。(主なもの	の5つまで	<u>(で)</u>							
N		① 道の駅「ど	なり」内に	こある土瓦	<b>找地域資</b> 源	原活力工房	(もてなし	の館)の旬	管理運営業務						
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5		- 1 hh- 1 -		=n -tm	337.71				- b		- P		
		指標名		計算式)	人は指標	設定理由	単位		平成 21		平成 22		平成 23:		最終目標
	数値目標	来館者数		調査及び	報告		人	目標 実績		25000 28860		25000 25806		25000	25000
	(事業の目的 及び活動内							<del></del> 目標		20000		23600			
	容の達成度							実績							
	を測る指標)							<u> </u>							
								実績							
	予算費目	会計		一般	会計		款	7 商二	 L費	項	1 商工費		目 2 1	観光費	
				成 2	21 年	度決算	平成	22	年度決算	平成	23 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円			
			金			千円			千円			千円			
	直接事業費		債			千円			千円			千円			
D	正汉子不及	その他特定財				千円			千円			千円			
0			源			,800 千円			3,284 千円		,	400 千円			
		計(A)	. 弗 0	010		,800 千円	0.010		3,284 千円	0.010		400 千円			
	人件費(B)	正職員工数·経 臨時·嘱託職		210 人	I,	<mark>,320</mark> 千円	0.210	<u> </u>	1,286 千円	0.210	人 1,	<mark>269</mark> 千円			
		臨時·嘱託工数·紹		000 人		0 千円	0.000	, I	0 千円	0.000	1	0 千円			
		業費(A+B)	132 0.1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	.3	.120 千円	0.000	<u> </u>	4,570 千円	0.000	4	669 千円			
	エデザク	() () () () ()			U	,			1,0,0		1,	111	l		

					ック項目					_	-次評·	価		_	-次評価(	の説明	明		二次	評価	i
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	, (	大き	ŧ۱۱	道路利用 を調査し、	地域活性	生化の	糸口が	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		つかめる	ように施設 こいと考え	とを有	効利用	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	١	C CM2/	こいと与え	. エ 9 で	•	0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	: <b>L</b> \					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	iv 🖲	いえ	.a	今後も指 営が必要		制度	こよる運	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	il 🗨	いえ	.a	百万%公女				0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	い					0	する	•	しない
CHEC		4.	事業の継続を	としても成果σ	つ向上が期	待で	<b>ぎきない。</b>		0	できな	い	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	る	指定管理 理費の削				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり_	上がって	いない		います。	がにったび	7_6 .6	上方んし	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	いると思う。		•	概ね達	酸して	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	産成して	いる						0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストが高し	١,				0	高い	•	適当	¥	指定管理担している				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	) でき	ない	費につい	ても管理し	しても	らいコス	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	ご、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	•	ある	С	ない	1	ト削減をは	図るよう考	えてし	ハます。	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	•	ある	С	ない	١					•	ある	0	ない
					-	次評	価								Ξ	次評	価				
	評値	甲	必要性	有効性	達成原	更	効率性	総合評	′価		必要	性	1	与効性	達成	隻	効率	生	総	合評	価
	<b>△</b> 2	を の		<u>  4</u> E実   ● 現物	<u>3</u> + ≤供 +±	0	1 方法改善	<b>B</b> ○ 民間委i	工学			<u>.</u> 大•充	<u> </u>	<b>4</b>   ● 現状	<u>3</u> は維持		<u>2</u> 方法改氰	É		B 委記	1年
		句性	○ 縮小				<u> </u>	〇 以间安市	<u> </u>					<u>統合/終</u>			<u>刀丛战</u> 廃止/休			女巾	L #
A					•						<u></u> пп		)	評価での					の相違点	į	
ACT		則の	ギャラリースへ	ペースを有効利 いと考えていま	用し地域層	主業(	の活性化になる	ような催し物や	ク展示	を								-			
	課	題				いと	:考えています。														
02	¬L +	H								<b>‡</b>	旨定管:	理者と	連携	し、効率的	な管理運	営に	努めてくた	さい	0		
N	と事	革案 実行 ·画	地元のケーブ	`ルテレビやHP	を活用し居	知宜	宣伝も行いたい	と思います。													
	委員	員会																			
	扣彻	事項																			

	No. 23 —	18 基本事務事業	業名 温泉	マセンター	·費	事務事	業名土	柱休養村温泉	管理運営	事業	公的関与 6	シー	-卜作成日	平成23	年6月15日
	部局名	産:	業経済部		課名	商工観	光課	主務課長	:名	高村	喬弘一		ト作成者名		佐 賢二
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			金・負担金・支		李浦	営方法 🗀	1 直'			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		6 内部	管理事務・そ	の他 <sup>‡</sup>	未连	当り仏 [		部委託		甫助等
					展するまちづく	IJ		実施計画					の開始・終う		
	総合計画	基本計画(施策						)1 該当			20 年 ~	平原	女 24 年	期間	間設定なし
		主要施策	(1)額	見光・交流扱	L点の整備充実、ネッ	ットワーク化の	)推進 ●	)2 非該当	1	泿拠法	令等阿波市	5 土柱自然休養	村管理センター及び阿波	市土柱休養村温泉の	の設置及び管理に関する条例
		対象(誰を、 何を)	利用者												
	事業の 対象・目的	目的(どういう)	最終的	施設の適	正な管理運営を	行うことによ	り、利用	者の利便性を図	切ります。						
PLAN		たいのか)	今年度												
A				動を行し	<b>ヽ</b> ますか。(主な	もの5つま	で)								
N		① 浴場施設の	の提供												
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5		= 1 66- 11-		11 3771				_	- P		— h	<b>- -</b>	
		指標名		人万算信	スは指標設定理	由単位		平成 21			7成 22 年		平成 23		最終目標
	数値目標	入浴者		調査		人	目標 実績		60000 48936			30000 15556		0	60000
	(事業の目的 及び活動内						<del>大</del> 根 目標		48930	)		10000			
	双び活動内 容の達成度						実績					+			
	を測る指標)						目標					-			
							実績								
	予算費目	会 計			会計	款		工費	項	1	商工費	-	目 6	温泉セン	ンター費
			平		1 年度決算		22	年度決算	平成	23		予算		備考	
		国庫支出	金		0 <del>T</del>	円		0 千円	3		0	千円			
		県 支 出	金		0 千	·円		0 千円	3		0	千円			
	直接事業費		債		0 千	·円		0 千円	3		18,200	千円			
D	但这节木貝	その他特定財			0 <del>T</del>	_		0 千円				千円			
0			源		11,184 <del>T</del>	_		15,476 千円			67,335				
		計(A)			11,184 ∓			15,476 千円			85,635				
	1 1/1 <del>11</del> 5 / _ 5	正職員工数·経		500 人	3,142 <del>⊺</del>	円 0.440	人	<b>2,695</b> 千円	0.390	人	2,357	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職				- 0.000			0.055		_				
		臨時·嘱託工数·約	全費 0.0	000 人	0 +		人	0 千円		人		千円			
	王 14年3	業費(A+B)			14,326 千	-		18,171 千円	1		87,992	十円			

					ェック項目					_	·次評	西		一次評価	の説	明		二次	(評価
		1.					、確保できる等 〈響は大きくな		0	少ない	•	大きい	市内外	場並びに癒 から、年間	約46,	000人の		少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次:	年度以降実	軽施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		が訪れてい 祉の増進に			0	ない	<ul><li>ある</li></ul>
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手	段、	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	С	ない	ます。	他の垣進い	- ひ1又	<u>11</u> -5 CV	•	ある	○ ない
		4.		の低下がみら; ビスとなって		隣自	治体と比較し	てニーズを	•	いる	С	いない					0	いる	● いない
		1.	施策の目的を	実現するため	こ、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ı, o	いえる		類似施設が利用者が派			0	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマ	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	ı, C	いえる	す。	. 13713 🗖 73 #	2, J		•	いえない	○ いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	更した	事務事業が存	在する。	•	する	С	しない					•	する	○ しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待て	きない。		0	できな	ر. (	できる					0	できない	⊙ できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	況が劣って	いる	と思う。		•	目標に	比べてst	劣っている		低迷並びにより、利用を			0	目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	「って	いないと思う	0	0	あまり」	_がって(	いない	ます。	.66 ) ( 11/11/1	_ / <i>3                                   </i>	, 9 C C C C	0	あまり上か	うていない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てじ	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる					•	概ね達成	している
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成して	いる					0	十分達成	している
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱ <sub>°</sub>				•	高い	С	適当		理者制度の			•	高い	○ 適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	できな	<b>い</b> たが、	現在は利用	者の	咸少に伴	•	できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	•	ある	С	ない		営するのが なったため、			•	ある	○ ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	リコス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	С	ない	ていま	す。			•	ある	○ ない
						次評									次評	-			
	評值	西点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	栖		<u>必要</u> 3		<u>有効性</u> 2	達成 3	度	効率	生	総	合評価 D
	今往	多の		_	 状維持		<u> </u>	<ul><li>● 民間委託</li></ul>	托等	(		 大 · 充		<u> </u>		 方法改	<u> </u>	<ul><li>民間</li></ul>	<u></u> 『委託等
Δ		句性	○ 縮小		<b>冬期設定</b>	Ŏ	廃止/休止		=	_	)縮			終期設定		廃止/休			
ACT												-	.次評価で	の指摘事	項及7	び一次評	価と	の相違点	Ā
10		面の問題	施設の整備す	並びに指定管理	里者の選定	0					<b>&gt;</b> 後	ま設の出	体 足問号	もうま もっと もっと もっと もっと しょう	た協	設の維持	答理:	を給計して	てください
N	と多	<b>美行</b>	柱休養村温泉	に阿波市土柱 F 泉改修工事を写 こ選定して運営	€施し、平成	<b>戈24</b> 年	センターの解体 ∈度以降は公募 います。	エ事並びに阿 により、民間事	]波市 事業者	土	, ix , ii	5 DX V	19、以刊7	- 171で守八し	/ I 二 N 巴	ロメマノ小仕]寸	6 <b>4</b>	C [7, 1] ()	
	委員指摘	員会 事項																	

	No. 23 —	19 基本事務事						自然環境活用センク	ター管理運営					=6月15日			
	部局名		業経済		課名	商工観		主務課長		高橋弘一		-卜作成者名		生 賢二			
PLAN	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			金·負担金·支						:部委託			
			事業		4 施設の維持		6 内部	管理事務・その	)他			-部委託 □ 4 補助等					
					展するまちづく	J	実施計画			事業			の開始・終了				
	総合計画	基本計画(施			,			1 該当		平成 年 ~ 平			設定なし				
		主要施策	(1)	見光•交流扱	処点の整備充実、ネ <sub>ン</sub>	ットワーク化の	推進	2 非該当	村	艮拠法令等	阿波市金清自	然環境活用センター	-の設置及び	管理に関する条例			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を)	利用者														
			最終的	後的 施設の適正な管理運営を行うことにより、利用者の利便性を図ります。													
		う状態にし たいのか)	今年度														
		具体的にどの	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
		① 浴場施設	の提供														
	事業の 活動内容	② 研修及び宿泊者への施設提供															
		③ 飲食の提供															
		4															
		5															
	数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式区	スは指標設定理	由単位		平成 21				平成 23		最終目標			
		入浴者		調査		人	目標		60,000	,			65,000	65,000			
							実績		57,971		57,287						
		宿泊者		調査		人	目標		0.171		1,742						
							実績 目標		2,171	171 1,7							
							実績										
	予算費目	会 計		<u> — фд</u>	会計	款	7 商	 Γ 費	項	1 商工費		目 6	温泉セン	ター費			
	7 开 只 口	- н	平		21 年度決算		22	<u>年</u> 年度決算	平成		度予算	П	備考	<i>,</i> ,,			
		国庫支出		.,,	0 f			0 千円	. ,,,		0 千円		MIN . A				
		県 支 出 金			0 <del>f</del>		0 <del>T</del> F				0 千円						
		<del>// // // // // // // // // // // // // </del>			0 <del>f</del>	円		0 千円			0 千円						
DO		その他特定財源			0 <del>f</del>	円		0 千円			0 千円						
		一般財源			9,500 ∓	円		15,431 千円		17,							
		計(A)			9,500 千	円		15,431 千円		17,							
	人件費(B)	11.10 1 11.11		500 人 3,142 千円		円 0.490	人	3,002 千円	0.440	人 2,6	660 千円						
		臨時·嘱託職種									0 千円						
				000 人	<b>0</b> ∓		人	0 千円	0.000	人							
	全体事	業費(A+B)			12,642 千	円		18,433 千円		20,	<mark>196</mark> 千円						

		チェック項目										一次評価					一次評価	の説り	二次評価					
	必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。									少なし	۱,	大き	<ul><li>大きい</li><li>憩いの場並びに癒し</li><li>市内外から、年間約</li></ul>			,000人の		)少ない ●		大きい		
		2.	. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。								0	ない	(	) ක්	5	入浴者が訪れています。また、市 民の福祉の増進にも役立ってい ます。			0	ない	ない			
		3.	. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。								0	ある		) ない	.1				•	) <b>කි</b>		ない		
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。								•	いる		いた	jl\						いる	•	いない	
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。										il (	いえ	ia	周辺に類似施設ができた影響等 により、利用者が減少していま				0	いえない	•	いえる	
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。									いえな	il (	いえ	ia .	す。				•	いえない	○ いえる		
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。									する		しな	il)				•	する	○ しない			
CHUC		4.	. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。									できな	il (	でき	₹ <b>る</b>				0	できない 💿 で		できる		
CK		1.	. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。										景気の低迷並び施設の老朽化 等により、利用者が減少していま					○ 目標に比べて劣っている						
	達	2.	. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。									あまり.	上がって	いない		す。				○ あまり上がっていない				
	成度	3.	. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。								0	概ね遺	達成して	เงอ						● 概ね達成している				
		4.	目標設定に対	すして十	分に目	標を達成	して	いると思う。			○ 十分達成している								○ 十分達成している					
	効	1.	. 効果に比べてコストが高い。									高い	○ 適当		指定管理者制度の導入により、 一時はコストの削減ができてい					高い	0	適当		
		2.	. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。									できる	)	でき	たい	たが、現在は利用者の減少に伴			0	できる	•	できない		
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。									ある	○ ない い経費が増加してい		います	Γ.	0	ある	● ない					
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。									ある		なし	.1						ある	•	ない	
							次評											.次評						
	評値	西点	必要性 有効性 達成度			効率性 総合評			F価		<u>必要性</u> 3		7	有効性 達成度		度	効率性				<b>好</b> 価			
	<b>△</b> 2	多の		_	2 ○ 現状	· · · · · · · ·		<u>l</u> 方法改善	•	D 民間委詞	4笙			<b>5</b> 大•劧	主		<u>  3</u> 状維持		<u>3</u> 方法改善	É	<ul><li>● 民間</li></ul>	<u>C</u>	千笙	
Α		句性	○ 縮小			期設定		<u>////////////////////////////////////</u>		以间安日	——————————————————————————————————————			<u>// /</u>			冬期設定	_	<u> </u>			1341	10 17	
C			ं गाम उ	(J)		7711272		<i>70—7</i> 11.—					U 1/1E		)		の指摘事	•			の相違点	į		
ACT-O			回の (財)阿波市金清自然環境活用センター協会の解散及び阿波市金清自然 題 用センター整備計画の策定。								<b></b> 大環境	指定管理者と連携し、住民のニーズへの対応、施設管理の効率化に努&									かてくださ			
N	と3 計	E行 ·画										、、阿 い。今後、施設の改修等について検討してください。 い。今後、施設の改修等について検討してください。												
	委員 指摘	員会 j事項																						